

# 『日本教育大学協会研究年報』 投稿規程

日本教育大学協会年報編集委員会制定

(平成3年1月4日 制 定)

(令和元年11月25日 一部改正)

(令和2年11月11日 一部改正)

(令和5年11月15日 一部改正)

(令和7年1月24日 一部改正)

- (1) 投稿において執筆者は、日本学術会議が声明を発した「声明：科学者の行動規範について」において説明している科学者の行動規範を十分理解して、行動しなければならない。(https://www.scj.go.jp/ja/scj/kihan/)
- (2) 投稿論文は、未公刊（掲載予定を含む）のものとする。ただし、口頭発表やその配付資料、発表要旨集等はこの限りではない。また、他の媒体等に掲載済みまたは投稿中の内容と著しく重複する内容の論文原稿を本誌に投稿することは二重投稿とみなし、これを認めない。なお、投稿論文に関連する掲載済みまたは投稿中の論文等がある場合は、その論文を提出しなければならない。
- (3) 同一者がファーストオーサーとして本誌に投稿できる論文原稿は、各年度1人あたり1編とする。
- (4) 論文原稿は、表題・日本語キーワード・本文（日本語）・註・引用又は参考文献・英語による表題・英語キーワード・英文アブストラクトの順で構成する。なお、論文原稿には、著者を特定できるような情報を含めてはならない。
  - \* 論文原稿の冒頭に、①表題、②日本語キーワード（3～5語）を記載しなければならない。
  - \* 見出しは、大見出し（1, 2, 3（太字））、中見出し（(1), (2), (3)）、小見出し（1), 2), 3), またはa, b, c) を原則とする。
  - \* 図版・図表を記載する場合には、表題を付し、本文の行内列内に貼り付ける。
  - \* 引用又は参考文献を記載する場合には、本文の最後に引用の順又は著者名のアルファベット順に一括して記載する。文献の記述内容は、著者名・書名・発行年・発行所・所在ページ等を含むものとし、著者名（発行年西暦）、表題、掲載誌名、巻号、始めと終わりのページの順に記載することを原則とする。
  - \* 論文原稿の末尾に、①英語による表題、②英語キーワード（3～5語）、③英文アブストラクト（400語以内）を記載しなければならない。
- (5) 論文原稿は、原則としてWord文書により作成し、A4判、横書き：1枚あたり40字×40行、文字サイズ：10.5ポイント、片面10枚以内（冒頭の表題から末尾の英文アブストラクトまで含む）とする。
  - \* 論文原稿には通しページ番号を付ける。
  - \* 刷り上りはB5判モノクロとなるため、図・グラフ等を作成の際は、留意する。
- (6) 論文原稿は指定期日必着とし、①論文原稿（Wordファイル及びPDFファイル）、②投稿論文執筆者様式、③投稿論文チェックリストを日本教育大学協会事務局が別途指定する方法により日本教育大学協会事務局あてに提出する。

## 附 則

- 1 この規程は、平成31年1月4日から施行し、平成31年度発行の第38集から適用する。
- 2 『日本教育大学協会研究年報』投稿論文執筆要領（平成28年11月24日制定）は、廃止する。

## 附 則

この規程は、令和元年11月25日から施行し、令和2年度発行の第39集から適用する。

## 附 則

この規程は、令和2年11月11日から施行し、令和3年度発行の第40集から適用する。

## 附 則

この規程は、令和5年11月15日から施行し、令和6年度発行の第43集から適用する。

## 附 則

この規程は、令和7年1月24日から施行し、令和7年度発行の第44集から適用する。